

# 鋳鉄管路の診断及び更新・更生計画策定マニュアル

## 一 目 次 一

第1部 管路機能維持のためのポイント	
1.1 マニュアルの目的	1
1.2 本書の概要	2
1.3 診断、更新・更生のための組織体制	4
1.4 プロジェクト推進のための手順	5
1.5 課題に応じた活用法	6
1.6 適用範囲と用語の定義	7
第2部 管路の機能とその維持	
2.1 管路に要求される機能	8
2.2 管路機能の変化	10
2.3 管路機能を維持するための手法	11
2.4 診断の内容と実施手順	13
2.5 理解と支持を得るための手法	14
第3部 鋳鉄管路の特性	
3.1 歴史	15
3.2 鋳鉄管・継手・異形管の経歴	19
3.3 特性	23
3.4 劣化と破損特性	27
3.5 耐震性	32
第4部 診断、評価、更新・更生計画策定の手順	
4.1 計画策定の概要	33
4.2 検討着手のタイミング	35
4.3 事前準備	38
4.4 目標・理念の設定	40
4.5 標準診断	42
4.6 詳細診断	44
4.7 管路の重要度	45
4.8 管路に関する経済的考察	48
4.9 施工時の留意点	50
4.10 総合評価法	51
4.11 更新・更生計画	52
第5部 標準診断	
5.1 情報の整理法	57
5.2 経歴による評価法	61
5.3 耐震性からの評価法	66
5.4 標準診断における評価	67
第6部 詳細診断	
6.1 実施手順	68
6.2 詳細調査手法	69
6.3 将来予測法	76
6.4 総合評価方法	80
第7部 更新工法	
7.1 検討事項	82
7.2 概要	84
7.3 各種更新工法と留意点	85
第8部 更生工法	
8.1 概要と効果	87
8.2 各種更生工法	88
8.3 検討事項	90
第9部 管路の資産管理の観点からの経済性	91

\*\* 資料 \*\* 細目次は101ページに

資料-1	鋳鉄管規格等の変遷	103
資料-2	鋳鉄管の規格	104
資料-3	鋳鉄管比率及び延長	122
資料-4	鋳鉄管の残存状況	124
資料-5	鋳鉄管路についての水道事業体へのアンケート調査結果	125
資料-6	段階的な配水管等事故時の対応	129
資料-7	配水管事故調査書	130
資料-8	漏水破裂及び埋設管状況調査表（入力用）	132
資料-9	製造業者の略号	133
資料-10	管路更新工法の概要	138
資料-11	管路更生工法の概要	146

## 図・表一覧

表 1.2.1	本マニュアルの概要	2
表 1.2.2	鋳鉄管路の診断及び更新・更生に関する関連図書一覧	3
表 1.3.1	鋳鉄管路に関する外部機関の一覧	4
図 1.4.1	水道施設の維持管理、施設整備計画策定の手順	5
図 1.5.1	課題ごとに応する本マニュアルの部	6
表 1.6.1	本マニュアルで使用する用語の定義	7

表 2.1.1	水圧・水質に関する規定	8
図 2.2.1	管路機能、埋設環境及び要求水準の変化	10
図 2.3.1	管路機能の維持管理手法	11

図 3.1.1	明治40年代の鋳鉄管の生産量	17
図 3.1.2	水道用鋳鉄管の布設状況(上水道事業分)	17
表 3.2.1	鋳鉄管の機械的性質	19
表 3.2.2	鋳鉄管(直管)の製造方法の変遷	20
図 3.2.1	合わせ型立込铸造法	20
図 3.2.2	金型遠心力铸造法	20
表 3.2.3	鋳鉄管の内外面塗装の変遷	21
図 3.2.3	印ろう形継手の構造	21
図 3.2.4	メカニカル継手	22
表 3.3.1	一般的な化学組成	23
表 3.3.2	鋳鉄管の機械的性質	24
図 3.3.1	管厚計算に考慮されている外力	25
図 3.3.2	貨物自動車保有車両数の変遷	26
図 3.4.1	鋳鉄管路が障害に至る流れの概念図	27
図 3.4.2	管種別の自然漏水管体事故率(東京都の例)	29
図 3.4.3	配水管の布設年数と破損の発生	30
図 3.5.1	阪神大震災での被害率	31

図 4.1.1	管路の診断及び更新・更生計画策定の手順	33
図 4.2.1	鋳鉄管路の診断及び更新・更生のイメージ図	35
表 4.3.1	鋳鉄管路に関する情報源	39
表 4.5.1	日常の維持管理業務から得られる情報の一例	42
表 4.5.2	鋳鉄管路の標準診断項目	42

図 4.7.1	管路事故の影響範囲の推定	46
図 4.7.2	平均圧力変化量による管路のランク分け	46
図 4.7.3	重要施設への送水ルートの抽出例	47
図 4.10.1	管路診断後の総合評価のイメージ	51
表 4.10.1	総合評価による管路の区分け例	51
図 4.11.1	更新・更生工法の選択法の例	54

図 5.1.1	マッピングシステムを使用した鉄管路の抽出結果	57
表 5.1.1	鉄管路に関する情報	58
表 5.1.2	ANSI の土壤評価基準	59
図 5.1.2	障害実績・測定記録の受け渡し	59
図 5.1.3	鉄管路の診断区間のイメージ	60
表 5.2.1	鉄管路の標準診断項目(表 4.5.2 を再掲)	61
図 5.2.1	鉄管路の標準診断の流れ	61
表 5.2.2	鉄管路の事故率を基にした老朽度ランク区分	62
表 5.2.3	鉄管路の各管路条件ごとの点数表	62
表 5.2.4	鉄管路の点数を基にした老朽度ランク区分	63
表 5.2.5	アイテム・カテゴリーの例	64
表 5.3.1	補正係数の一覧表	66
表 5.4.1	詳細診断を必要とする状況	67

表 6.2.1	物理的手法の比較分類	71
図 6.2.1	消火栓より内視鏡を挿入、観察	73
図 6.2.2	消火栓等より調査ロボットを挿入、調査	73
図 6.2.3	2箇所の消火栓等で圧力差と流量を測定	73
図 6.2.4	消火栓等で管路内の水質や水圧を連続測定	73
図 6.2.5	外面からの腐食深さ測定(デプスゲージ)	74
図 6.2.6	外面からの管厚測定(超音波厚さ計)	74
図 6.2.7	外面からの通水断面積測定(スケールチェッカー)	74
図 6.2.8	外面からの通水断面積測定(X線発生器)	74
図 6.2.9	外面からの胴付測定(X線発生器)	75
図 6.2.10	外面からの胴付測定(超音波探傷器)	75
図 6.2.11	管内自走装置を挿入、観察	75
図 6.2.12	堀り上げ管による試験例(通水断面積測定)	75
図 6.2.13	管内作業による管厚測定	76
図 6.2.14	水圧分布による管路評価例	76
図 6.2.15	水質解析による管路評価例	77
表 6.3.1	アイテム・カテゴリーの例(表 5.2.4 を再掲)	78
図 6.3.1	鉄管路の機能低下の将来予測	78
図 6.4.1	管路単位で総合的な機能劣化を評価するイメージ	80
図 6.4.2	総合評価の流れ	81
表 6.4.1	財政事情、上位計画、施工面の制約への考慮	81
表 6.4.2	総合評価による管路の区分け例(表 4.10.1 を再掲)	81

図 7.3.1	管路更新工法の分類	85
---------	-----------	----

図 9.1.1	水道管路の経済的考察の概要	91
表 9.1.1	効果項目の分類(体系)	92
表 9.1.2	リスクの種類	94
表 9.1.3	リスク管理をすすめるうえでのポイント	95
図 9.1.2	水道管路のライフサイクルコスト	96
表 9.1.4	水道管路の維持管理コストの例	96
表 9.1.5	水道施設の改良・更新財源の種類	97

表 9.1.6 鋳鉄管路の更新・更生に関する国庫補助事業	99
(水道事業・水道用水供給事業)	
表 9.1.7 鋳鉄管路の更新・更生に関する国庫補助事業	100
(簡易水道施設・飲料水供給施設)	

## 写真一覧

写真 3.1.1 明治 18 年当時の輸入された鋳鉄管	15
写真 3.2.1 鋳鉄管の顕微鏡組織	19
写真 3.3.1 顕微鏡組織	23
写真 3.3.2 重錘落下衝撃試験	24
写真 3.4.1 管内の錆こぶ発生事例	28
写真 3.4.2 管体破損の事例(縦割れ)	29
写真 3.4.3 管体破損の事例(折れ)	29
写真 3.5.1 阪神大震災での鋳鉄管の破損例	32

## コーヒーブレイク 一覧

☕ 日本近代水道事始	9
☕ 日本近代水道最古の水道管	16
☕ 世界最古の鋳鉄管	18
☕ 大阪市水道創設時の出来事	22
☕ 点滴石を穿つ	31
☕ こんな時は管路の機能をチェックしたいものです	37
☕ 水道はインターネットの手本	49
☕ 鋳鉄管はリサイクルされています。	56
☕ 鋳鉄管とダクタイル鉄管の簡易判別法	65
☕ 水道とロボット	79
☕ 飛び散った汗玉(かんだま)から大発見	83